

報道機関各位

令和6年9月18日
農林水産部農村整備課

山形県農業農村整備ICT施工技術研修会の開催

人口減少や高齢化に伴い、農業や建設現場では後継者や就業者の人手不足が深刻化している状況を踏まえ、本県では農業基盤整備の建設工事におけるICT施工の県内普及や農業のスマート化に向けたDXの推進に取り組む方針としています。

この度、農業農村整備事業における建設工事のICT施工について、県内建設会社や測量設計コンサルタント会社等に施工状況の視察機会を提供し、技術の普及と機運の醸成を図るため、下記のとおり研修会を開催しますので、ぜひ、取材くださるようお願いいたします。

記

- 日時 令和6年9月25日（水） 10時～15時
- 会場 山形県農林水産部農村整備事業ICT活用モデル工場の現場
(1) 鶴子六沢地区（尾花沢市） 大山建設㈱
(2) 沖の原1期地区（新庄市・舟形町） ㈱柿崎工務所
- 内容 (1) ほ場整備工事 整地工
マシンガイダンス（MG）バックホウによる畦畔整形等
3次元設計データの内容説明
拡張現実（AR）化による現場確認
(2) ほ場整備工事 整地工
マシンコントロール（MC）ブルドーザによる表土整地
3次元設計データを利用した排土板の操作実演
測量機器等の説明
- 参集者 山形県、関係土地改良区、山形県土地改良事業団体連合会、
山形県土地改良建設協会、山形県測量設計業協会
- その他 (1)(2)を移動し取材いただくこととなります。

(DXとは)

スマートフォンやIoT（Internet of Things）デバイス等の機器の普及や、それらの機器を通じた大量のデータ（ビッグデータ）の集積が進むなか、近年、これまでの現実空間を前提とした業務そのものを効率化し、さらに抜本的に変革すること「デジタル・トランスフォーメーション（DX：DigitalTransformation）」。



【問合せ先】
農村整備課
課長補佐（農業基盤DX担当） 沓澤宗一
電話 023-630-2510
報道監 農林水産部次長 高橋和博